

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 5 年 10 月 31 日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人下仁田町観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 群馬県甘楽郡下仁田町	
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町馬山 3766-11	
設立時期	平成 26 年 8 月 12 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	7 人【常勤 0 人（正職員 0 人・出向等 1 人）、非常勤 7 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 神戸 康宏 （出身組織名） 神戸土木（株） 代表取締役	日本大学大学院卒・工学修士 神戸土木株式会社・代表取締役 株式会社イーエーシー・代表取締役 地域の社会基盤及び情報基盤整備に長きにわたり従事。その経験を活かし、DMO として組織の健全化とそのマネジメントやマーケティング、「観光まちづくり」に取り組んでいる。 ロック・ギタリスト「エディ・ヴァン・ヘイレン」への造詣の深さは、世界的に有名である。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 津金澤 英美（専従） （出身組織名） 観光協会	東京都出身。アメリカ・ボストンに短期留学後、都内企業に約 20 年勤務。宿泊施設及び飲食業界での接客業務、美術工芸品や食品製造に係る企画やプロモーションに従事。経理や総務のマネジメント経験もある。その多彩な経験を活かし、当協会業務に取り組んでいる。旅すること、食すること、動物と過ごすこと、自然の中で過ごすことが趣味である。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 野口 幸子（専従） （出身組織名） 観光協会	下仁田町出身下仁田町在住。下仁田町内及び隣接する富岡市の企業にて働きながら 3 人の子供を育てあげ、とても明るくパワフルな性格。PTA をはじめとした地域団体の活動にも積極的に参加していた経験と地域愛に満ちた志を当協会の事業活動に活かしている。休みの日は畑仕事もこなし、とてもアクティブな女性。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 津金澤 英美（専従） （出身組織名） 観光協会	同上

※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること		
各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 津金澤 英美（専従） （出身組織名） 観光協会	同上
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	下仁田町役場 商工観光課・商工観光係（マーケティング部門） 企画課・地域創生係及び地域振興係（社会資本整備・公共交通・移住定住等） 群馬県 地域創生部地域創生課、地域創生部 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課（総合アドバイス） 産業経済部 戦略セールス局 観光魅力創出課（イベント支援等） 農政部 農村整備課 中山間振興係 群馬県富岡行政県税事務所 総務振興係	
連携する事業者名及び役割	下仁田町商工会（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田町森林組合（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田町飲食店組合（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田町旅館組合（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田建築組合（移住定住・空き家バンク制度の事業連携） 下仁田まちづくり委員会（情報提供と共有、イベントの共同開催） （公財）神津牧場（情報提供と共有、イベントの共同開催） 道の駅しもにた（マーケティング、イベントの共同開催） 高崎経済大学観光まちづくり研究室（DMO 推進事業検討及びマーケティング） 下仁田ジオパーク協議会（企画と共同プロモーション） 下仁田町蒔蒔消費拡大推進協議会（体験ツアーと共同プロモーション） 上信電鉄株式会社（企画と共同プロモーション） 白石工業株式会社（展示会企画と共同プロモーション） （公益）群馬県観光物産国際協会（アドバイス、共同プロモーション） （一財）群馬県森林・緑整備基金（情報提供と共有、共同プロモーション） 群馬県コンベンションビューロー（情報提供と共有、イベントの共同開催） 西上州観光連盟（情報提供と共有、イベントの共同開催） 東急ハーベストクラブ（着地型観光企画と共同プロモーション） 株式会社 J T B 群馬支店（着地型観光企画と共同プロモーション） 利根川ネットワーク（首都圏事業者との連携） 高崎商科大学地域連携センター（産学連携・観光の共同研究及び企画） 富岡市世界遺産観光部観光交流課、高崎市商工観光部観光課、南牧村振興整備部情報観光課、上野村役場振興課、神流町役場、甘楽町役場、富岡市観光協会、上野村産業情報センター、安中市観光機構・藤岡市観光協会、高崎市観光協会、南牧村観光協会 長野県（軽井沢観光協会・佐久市観光協会） （情報共有、企画と共同開催、プロモーションなどを行う）	
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	①DMO 事業推進検討会議 下仁田町商工観光課長、高崎経済大学「観光まちづくり研究室」井手准教授、こんにやく手作り体験教室講師佐々木氏、当協会代表理事、当協会 CMO の 5 名から成り立つ会議体。当協会の先ずは現状把握、課題等の洗い出しを	

	<p>行い、現時点で取り組める事業を検討後、新規事業を進めていく。また、各検討委員のそれぞれの立場からの経験や意見を集約したことをDMO活動に反映させる。</p> <p>②下仁田町観光協会定期総会 観光協会出席のもと、事業報告及び事業収支決算報告、また新規事業案及び事業収支予算案を審議、可決された。本年度は定款の見直しを実施、当協会の事業目的を明確且つDMO組織活動に沿った定款変更を行なった。オブザーバーとして下仁田町長、下仁田町役場商工観光課、下仁田町議会議長、下仁田町社会経済常任委員会委員長、高崎経済大学「観光まちづくり研究室」井手准教授、株式会社JTB群馬支店担当者出席。 当協会の事業方針、</p> <p>③基調講演会 観光協会、定期総会出席者、下仁田町役場企画課、教育課職員が出席。DMOの意義や仕組みを学び、当協会の役割について理解をしてもらう第1歩のスタートとなった。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>令和5年度下仁田町観光協会定期総会 基調講演会「DMOの根っこ～根っこを理解し、これからを考えてみましょう～」 高崎経済大学地域政策学部観光政策学科・准教授井手拓郎氏を講師に招き、等観光協会員に対し、上記基調講演会を行った。DMOの意義や仕組み、当協会の役割について理解をってもらう第1歩のスタートとなった。</p>				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" data-bbox="432 1032 1407 1953"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1032 619 1081">事業</th> <th data-bbox="619 1032 1407 1081">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1081 619 1953"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="619 1081 1407 1953"> <p>・令和2年度 一般社団法人下仁田町観光協会WEBサイト更新業務 当法人の事務局である観光案内所のWEBサイトは、平成26年に開設されている。しかし、コンテンツの構成や多言語化への対応が不十分であると共に、マーケティングの基礎になるアクセス解析の機能を有していないことから、脆弱な状況にあり地域DMOとしての運営に支障をきたしている。このため、求められる機能の拡充やコンテンツを再構成することで情報の品質向上を図るとともに、DMOの運営に必要な不可欠なKPI指標などの算定根拠となる基礎データの収集やアクセス解析などの機能を有するWEBサイトを構築した。</p> <p>・令和4年度 道の駅しもにた下仁田町観光案内所デジタルサイネージ設置及びコンテンツ制作業務 下仁田町役場商工観光課主管 公募型プロポーザル実施に係る第1回選定委員会委員として参画。コンテンツ制作会議にも参加し、観光案内所に必要なコンテンツを提案し構築に携わった。 下仁田町観光情報及び体験コンテンツログ、スタッフ業務ブログ情報発信業務 HP及びSNS（Instagram、Facebook、Twitter）の活用。 下仁田町の花の観光名所（あぶだ福寿草の里、群馬県立森林公園さくらの里、下仁田あじさい園）開園中、日々の開花状</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・令和2年度 一般社団法人下仁田町観光協会WEBサイト更新業務 当法人の事務局である観光案内所のWEBサイトは、平成26年に開設されている。しかし、コンテンツの構成や多言語化への対応が不十分であると共に、マーケティングの基礎になるアクセス解析の機能を有していないことから、脆弱な状況にあり地域DMOとしての運営に支障をきたしている。このため、求められる機能の拡充やコンテンツを再構成することで情報の品質向上を図るとともに、DMOの運営に必要な不可欠なKPI指標などの算定根拠となる基礎データの収集やアクセス解析などの機能を有するWEBサイトを構築した。</p> <p>・令和4年度 道の駅しもにた下仁田町観光案内所デジタルサイネージ設置及びコンテンツ制作業務 下仁田町役場商工観光課主管 公募型プロポーザル実施に係る第1回選定委員会委員として参画。コンテンツ制作会議にも参加し、観光案内所に必要なコンテンツを提案し構築に携わった。 下仁田町観光情報及び体験コンテンツログ、スタッフ業務ブログ情報発信業務 HP及びSNS（Instagram、Facebook、Twitter）の活用。 下仁田町の花の観光名所（あぶだ福寿草の里、群馬県立森林公園さくらの里、下仁田あじさい園）開園中、日々の開花状</p>
事業	実施概要				
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・令和2年度 一般社団法人下仁田町観光協会WEBサイト更新業務 当法人の事務局である観光案内所のWEBサイトは、平成26年に開設されている。しかし、コンテンツの構成や多言語化への対応が不十分であると共に、マーケティングの基礎になるアクセス解析の機能を有していないことから、脆弱な状況にあり地域DMOとしての運営に支障をきたしている。このため、求められる機能の拡充やコンテンツを再構成することで情報の品質向上を図るとともに、DMOの運営に必要な不可欠なKPI指標などの算定根拠となる基礎データの収集やアクセス解析などの機能を有するWEBサイトを構築した。</p> <p>・令和4年度 道の駅しもにた下仁田町観光案内所デジタルサイネージ設置及びコンテンツ制作業務 下仁田町役場商工観光課主管 公募型プロポーザル実施に係る第1回選定委員会委員として参画。コンテンツ制作会議にも参加し、観光案内所に必要なコンテンツを提案し構築に携わった。 下仁田町観光情報及び体験コンテンツログ、スタッフ業務ブログ情報発信業務 HP及びSNS（Instagram、Facebook、Twitter）の活用。 下仁田町の花の観光名所（あぶだ福寿草の里、群馬県立森林公園さくらの里、下仁田あじさい園）開園中、日々の開花状</p>				

	<p>況を現地にて定点観測及び撮影し、正確な情報発信を行なった。</p> <p>その他に、体験参加者の承諾を得て、こんにやく手作り体験や下仁田ねぎ収穫体験の様子を公開、体験コンテンツ魅力発信を行なっている。また、スタッフが対応した業務報告（会議やイベント）をブログ形式で公開をしている。</p>
<p>受入環境の整備</p>	<p>・平成 28 年度（下仁田町補助金事業） 地域 DMO 主体による西上州モビリティシステム構築事業 西上州エリアの中心である下仁田町は首都圏から公共交通機関やマイカーで 2 時間圏内にある。首都圏からの公共交通機関及び地域交通（タクシー含む）と既存及び新規のアウトドアアクティビティや観光ツアー（インバウンドを含む）を組み合わせたシステムを構築する。これにより公共交通などの稼働率の押し上げや観光客の滞留時間の延伸等が見込まれ、もって路線維持への貢献や観光振興を図るものである。</p> <p>・平成 30 年度（訪日外国人旅行者周遊促進事業） 軽井沢、下仁田の観光ルート整備事業 下仁田町から車で約 40 分の位置にある軽井沢町は、年間約 70 万人の訪日観光客があり、インバウンド観光客数は隣接する地域の中で最も多く、首都圏と軽井沢町往来で立ち寄るスポットとしての需要が高い。その観光客への観光ルートの魅力創出と街道沿いの地域資源をコンテンツとして整備するとともに、軽井沢町の旅行会社やホテル等と連携し、滞在時間を増やすことで本町への誘客促進を図るものである。</p>
<p>観光資源の磨き上げ</p>	<p>・平成 29 年度（農林水産省補助金/業実施主体・下仁田町） 農山漁村おみやげ農畜産物販促進に係る各種調査業務 インバウンド観光戦略の柱として、近代登山の発祥の地として知られる妙義山の登山観光を促進し、外国人旅行者を当地に呼び込むと共に、その発着点を「道の駅しもにた」にすることで、観光消費の増大、農産物などの売上げ及び生産向上のサイクル確立を図るための各種調査、商品の開発などを行った。</p> <p>・令和元年（群馬県千客万来支援事業） 神津牧場ミニ資料館整備事業 日本最古の西洋式牧場である神津牧場は、長野県県境に隣接しエリアは妙義荒船佐久高原国定公園に指定されている。町の重要な観光拠点で、国際的観光地である「軽井沢」との連携も進められており、観光体験を中心とするコンテンツを増やしているものの牧場自体を紹介する資料や情報が不足していた。このため本事業を活用し、パイオニアとしての背景や意義はもとより、現在もリーダー的な存在であり続けている取り組みなどに係る資料を収集し、それらの情報を多言語によりパネル化して、広く提供することで集客と滞留時間の増大を促し、もって観光振興を図ろうとするものである。</p> <p>・令和 4 年度第 2 次補正 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業</p>

	<p>モジヨタウン下仁田伝統野菜「下仁田ねぎ」の核心にせまる “すき焼き体験/日本文化” 探究の旅 下仁田のポテンシャルを全集中、こだわり抜いた日本食文化の学びと体験型コンテンツ、「究極の SUKIYAKI」体験を造成することで、「地域プライド」を取り戻すチャンスに繋がられるよう事業に着手し、本年度取り組みを行なっている。</p> <p>-主な体験内容-</p> <p>伝統野菜「下仁田ネギ」と地場産業を支え続ける「原木しいたけ」の歴史や生産体制を学ぶ収穫体験 群馬県認定こんにゃくの達人によるこんにゃく手作り体験 明治期における日本の西洋化を食の側面で支えた日本初の高原洋式牧場「神津牧場」で生産される希少なジャージー種の生産体制レクチャー 下仁田産すき焼き食材にこだわり、日本食料理人監修・モジヨタウン下仁田すき焼きレシピ「究極の SUKIYAKI」を堪能 本事業を活用した持続可能な高付加価値商品開発 「下仁田ねぎすき焼きまん」を企画開発し、「道の駅しもにた」での下仁田町観光協会オリジナル土産品として通年販売、又ふるさと納税商品として事業収益に繋げていく。</p> <p>・モジヨタウン下仁田モータースポーツ文化アーカイブ調査事業 「頭文字 D に係る企画調査会議」を発足。 アニメ・頭文字 D の舞台である「妙義山」を観光資源として持つ下仁田。海外でも人気のある「アニメ・頭文字 D」に着目。インバウンド向けアニメツーリズムをはじめとしたコンテンツ造成に係るニーズ調査を開始。また、下仁田町は 1970 年代よりモータースポーツに精通する人材の宝庫であり、現代へ受け継がれている。その文化のアーカイブし、新たな観光コンテンツ造成に繋げる取り組みを始動予定。下仁田町役場商工観光課、企画課、町内在住モータースポーツ有識者、近隣地域モータースポーツ有識者、株式会社 JTB 群馬支店参画会議にて、月 1 回会議を開催し企画調査を進めている。</p>
	<p>【定量的な評価】</p> <p>○農山漁村おみやげ農畜産物販促進に係る各種調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神津牧場ミルクプリン（開発商品） H30 年度 4,947 個（売上：1,139,350 円） H31 年度 4,513 個（売上：1,098,380 円） <p>○神津牧場ミニ資料館整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無人施設、自由入場のため計測不能

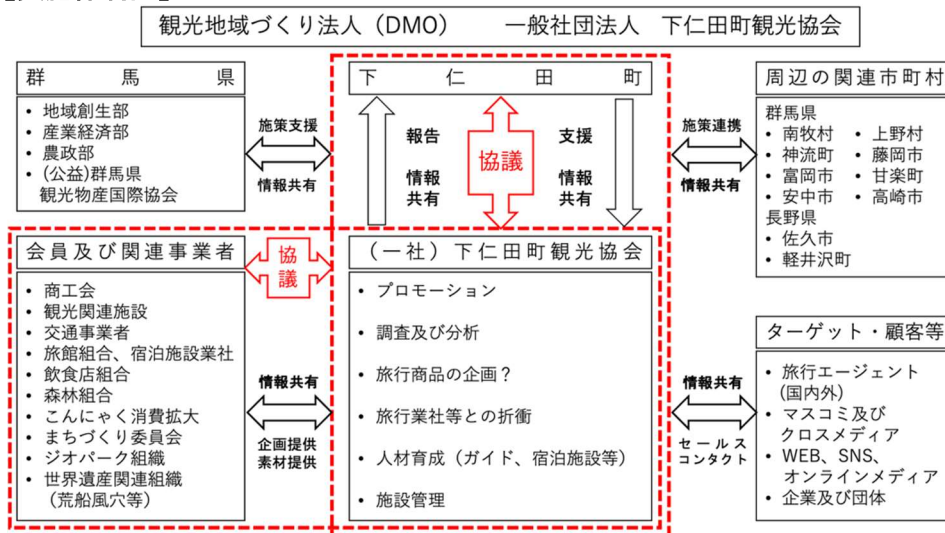
実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

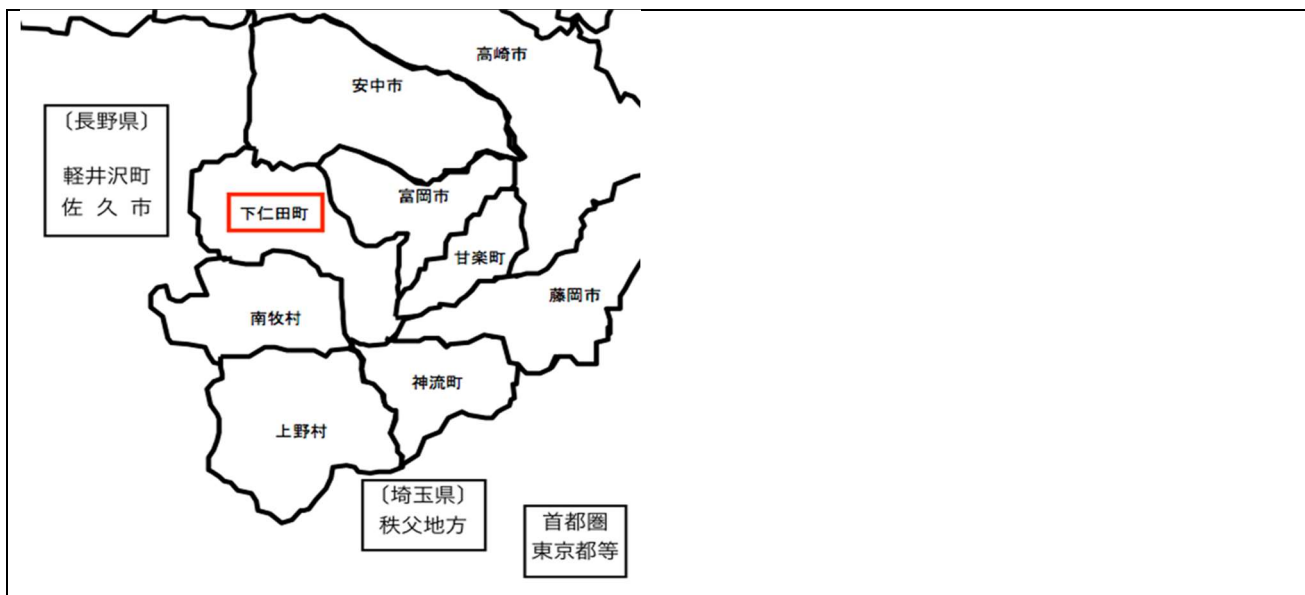
観光地域づくり法人である一般社団法人下仁田町観光協会が母体となり、飲食店組合、旅館業組合、交通事業者、商工会、農業生産者、林業関係者、金融機関、ジオパーク協議会、行政、その他町内の企業など、多様な関係者が参画するとともに、官民が密接な連携を図りながら運営している。

【実施体制図】



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

(※長野県の佐久市及び軽井沢町、富岡市、安中市、南牧村、上野村、神流町などの観光関連の団体と引き続き、相互に連携を図り観光振興を推進する。また下仁田町は国内有数の観光地である軽井沢町と秩父地方を結ぶ中継地点に位置している。このため、両地域と沿道の神流町・上野村・南牧村などを包含するラインで連携を図ることで、自然・健康・歴史・文化などを学び体感できる様々な形態のツーリズムの企画と提供が可能になり、観光客と滞在時間の増大にも繋がることから、関連地域における観光や文化の振興に大きく寄与するものと考えている。

また、首都圏・都内の人々をターゲットに、マーケットへの訴求力の拡大や顧客視点からのニーズの高い旅行商品の企画開発に取り組むとともに、これから益々増大するであろう地方への移住定住施策を積極的に支援し、本町を移住定住先に選定してもらえるように取り組む。

【観光客の実態等】

本町には、下仁田ジオパーク、荒船風穴(世界遺産)、登山客、神津牧場(日本初の西洋式牧場)、霊峰・妙義山、中之嶽神社などにみられるように、目的意識を持った観光客が訪れる傾向が強い。しかし、公共交通機関が目的地まで整備されていないこともありマイカー客が主流となっている。また、上信越自動車の下仁田インターチェンジから、南牧村、上野村及び神流町などを目的とする観光客のワンストップ中継地点としての役割を持っているが、隣接する軽井沢町方面からの観光客については、あまり訪れていない現状がある。

コロナウィルスの影響により、高速バスの減便等があり、首都圏からの誘客も厳しい状況である。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

○観光施設

- ・道の駅しもにた（重点道の駅）
- ・荒船の湯（2020年10月に新生オープン）
- ・下仁田町自然史館
- ・下仁田町歴史館
- ・青岩公園
- ・本宿（宿場町）エリア
- ・各ジオサイト

○自然・スポーツ系資源

- ・群馬県森林公園立さくらの里
- ・神津牧場

- ・ほたる山公園
- ・荒船湖・サンスポーツランド
- ・姫街道もみじライン
- ・虻田福寿草の里
- ・下仁田あじさい園
- ・登山及びハイキング(荒船山・妙義山・物語山・小沢岳・稲含山・四ツ又山・鹿岳・物見山など)
- ・蒔田不動の滝
- ・下仁田カントリークラブ
- ・県道、町道、林道の網羅(カーマニア、モータースポーツ愛好家)

○文化系資源(体験含む)

- ・荒船風穴(世界文化遺産)
- ・下仁田町自然史館
- ・下仁田町歴史館
- ・中小坂鉄山製鉄所跡
- ・下仁田戦争跡
- ・下仁田駅駅舎
- ・赤レンガ倉庫
- ・こんにやく手作り体験
- ・下仁田ねぎ収穫体験
- ・上州下仁田焼き陶芸体験

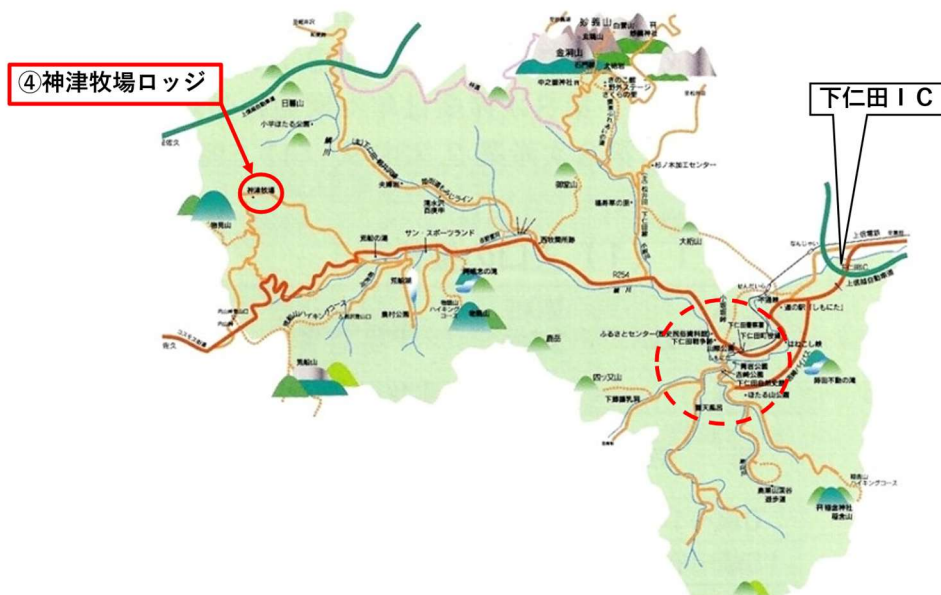
○イベント等の資源

- ・蒟蒻大黒天祭
- ・虻田福寿草祭り
- ・山際稻荷神社例大祭
- ・観光PRイベント(さくらの里)
- ・神津牧場花祭り
- ・神津荒船もみじ祭り
- ・下仁田あじさい祭り
- ・下仁田こんにやく夏祭り
- ・諏訪神社秋季例大祭
- ・カツ丼スタンプラリー
- ・下仁田ねぎ祭り

○食・特産品資源

- ・特産品「下仁田こんにやく」
- ・特産品「下仁田ねぎ」
- ・上州下仁田焼
- ・特産品「桑茶」
- ・特産品「神津牧場、牛乳、チーズなど」
- ・下仁田森林組合「木工製品」
- ・下仁田かつ丼

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】



※ 施設①～③は、赤破線内の範囲

施設名	収容力	施設規模	アクセス (徒歩)
① 清流荘	30名	13室、温泉、露天風呂、宴会場	下仁田駅 20分
② 常盤館	30名	6部屋 割烹料理、宴会場	下仁田駅 3分
③ 下仁田館	40名	8部屋、宴会場、会議場等	下仁田駅 5分
④ 神津牧場ロッジ	36名	6部屋、売店、バーベキュー、体験	下仁田駅 50分 (車)

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○公共交通機関利用

首都圏からの公共アクセスは、JR高崎駅から上信電鉄に乗りかえ約60分、(計120分程度)
 高速バスを利用の場合は、池袋・新宿から約120分、練馬・川越から約90分

○マイカー利用

関越道、練馬ICから藤岡ジャンクションより上信越道に入り下仁田ICまでは約90分

○町内の移動

下仁田町の町営バスが全5路線
 観光地までの送迎を担うタクシー会社2社

○周辺市町村へのアクセス

上野村乗合タクシーが下仁田高速バス停、下仁田駅に停車
 一般道を利用して軽井沢まで約40分(高速道路を利用した場合は30分)
 国道254号線を利用して長野県佐久市まで約50分

交通機関名称	内容
上信電鉄	JR 高崎駅より約 60 分
高速バス	新宿、池袋、練馬、川越より約 120 分
下仁田町内路線バス	全 5 ルート(中之嶽線、馬山線、初鳥山線、市野萱線、青倉線)
タクシー	下仁田駅に 2 社、町内観光ポイントまでの送迎
上野村乗合タクシー	上野村まで約 50 分、温泉施設や観光地に接続



【外国人観光客への対応】

○下仁田町観光案内所

- ・外国人観光案内所カテゴリー2 取得
- ・施設の予約サービス(周辺地域を含む)

○観光地等の対応

- ・世界遺産に登録されている荒船風穴では多言語対応のパンフレット作成とPR

○ツアー・体験メニュー

- ・手作りこんにやく体験 (英語対応可能な職員が在籍)
- ・各種ツアー (事前に申し出があれば、英語対応が可能)
- ・観光関連施設に対する接客講習会を開催(29年9月)

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	アンケート調査を大学と連携して事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	下仁田町旅館組合員にアンケート調査を実施。

観光案内所への来訪客者調査	観光客の動向を把握して、企画立案やサイン計画などへの提言、観光の総合戦略の基礎データとする。	観光案内所でヒアリング等を行い記録、目的別に整理している。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を大学と連携して事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を大学と連携して事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握。事業者へ観光客の動向、ニーズ等の発信。WEBを利用した移住定住相談会等への積極的な参加。	SNSの分析。 アナリティクス等を活用し、潜在的なニーズを汲み取る。
町内観光関連施設データ	観光客、公共交通機関、宿泊施設、産業及び文化関連施設、各種のお祭りやイベントの開催時などにおいて、より正確に、利用者数やその動向を把握するとともに、リピーター率や顧客満足度の調査、売り上げなどのデータを収集する。総合的かつ効果的な戦略を立案し実施するため。	○主な調査対象○ 道の駅しもにた、公共交通機関及びタクシー等、下仁田町自然史館、下仁田町歴史館、登山／ハイキング（荒船山・妙義山などの山々）、県立妙義公園（さくらの里等）、神津牧場、青岩公園、諏訪神社、中之嶽神社、下仁田ジオパーク、中小坂鉄山製鉄所跡、下仁田戦争跡、下仁田あじさい園、虻田福寿草の里、下仁田ゴルフ場、本宿エリア、荒船湖、こんにやく手作り体験、下仁田ねぎ収穫体験、下仁田焼き陶芸体験、荒船の湯など。 過去の調査成果などがあればそれらも活用する。
食・特産品資源調査及び特産品試食調査	・食（こんにやく・ねぎ・神津牧場の乳製品・下仁田カツ丼）、特産品（下仁田焼き・木工製品等）などの資源についての評価、改善すべき事項等について調査分析を行い、事業者と連携し、発展に繋げる。 ・お土産品などの評価やニーズなどを把握し、更なる改善や新たな商品開発に繋げる。	・それぞれの食・特産品などの資源は、テスト販売等を実施、フィードバックを受ける。（アンケート調査等）。 ・食に関するイベント等を通じて、テスト販売を実施。フィードバックを受ける。（アンケート調査等）。 コロナウィルスの影響により、実施時期は未定。

4. 戦略

（1）地域における観光を取り巻く背景

本町においても人口減少が進んでおり、それにとともなう過疎化の進行と共に、中心市街地や本宿地域の商店街の衰退も目立っている。コロナウィルスの影響により、町内事業者もより一層と経営が厳しくなっている。人口減少を緩和していくためには、定住や移住に関する希望や就職、雇用等に関する希望を叶えながら町外への流出を抑制し、町内定住を促進することが必要である。

今後は、コロナウィルスが与えた経済社会への影響、消費者のマインドの変化などを的確に把握し、観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、商工会・交通事業者・森林組合などの関係団体と協働しながら、豊かで恵まれた自然環境と特色ある地域資源（ジオパーク・世界遺産・産業遺産など）を活かし、住民の暮らしを豊にする地域づくりを戦略的に進める。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産「荒船風穴」に登録 ・知名度の高いこんにやくブランド ・知名度の高い下仁田ねぎブランド ・日本ジオパークに認定 ・近代産業「中小坂鉄山」、「白石工業・白艶華工場」 ・通年登山が可能な山が多い ・歴史上の著名人が訪れている (島崎藤村、伊能忠敬、ウェストン等) ・地域の文化、住民参加の伝統行事が傳承されている ・地震等の自然災害に強い ・イベント開催が可能である ・駅周辺に赤レンガ倉庫の景観がある ・道の駅に一定数の訪問者が訪れている ・雪害が少ない 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の収容人数が少ない ・来訪者に対して、町内に大規模人数収容可能な飲食施設、イベント施設やコンサート会場がない。 ・目的地までの2次交通アクセスが不便 ・地域内の観光産業への関心が低い ・団体ツアー等の受け入れ体制が確立されていない ・国道 254 号は大型車混入率が約 60%と高く、中心部の安全安心な沿道環境を損ねている ・国道 254 号の道路整備が必要である ・インバウンド対応のガイドが整備/用意されていない ・中心市街地に大規模な駐車スペースがない。
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する富岡市の世界遺産富岡製糸場と群馬県世界遺産センター、3大パーク (群馬サファリパーク、こんにやくパーク、めんたいパーク) には多くの観光客が訪れている。 ・東西に広がる標高差のある町 ・関東平野の最終地点 ・首都圏から2時間程度の距離にあり、日帰り旅行に適している ・平野部では積雪等がほとんどないため、1年中ハイキング等ができる ・軽井沢まで30分圏内にあり、インバウンド需要が見込める 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により地域産業全体が衰退傾向にある ・商店街等の街全体に活気がない ・ジャパンレイルパス (上信電鉄) のエリアではないためインバウンド誘致に不利である ・高速バスの本数が少ない。(日中の時間帯) ・3大パーク (群馬サファリパーク、こんにやくパーク、めんたいパーク) には多くの観光客が訪れている。

※上記に加え、P E S T分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入 (様式自由)。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の小中高等学校及び教育団体 ・首都圏の企業 ・首都圏から近隣市町村を含めた観光目的の人たち
<p>○選定の理由</p> <p>首都圏の小中高等学校に人気のある、通年催行可能な「こんにやく手作り体験」のコンテンツを保持している。</p> <p>首都圏からのアクセスの良さ (下仁田 I C) もあり、日帰り観光コンテンツとして、「こんにやく手作り体験」及び「下仁田ねぎ収穫体験」のニーズがある。</p> <p>○取組方針</p> <p>こんにやく手作り体験ログ、下仁田ねぎ収穫体験ログにて体験の魅力、情報発信を行なっている。</p> <p>令和5年度より、重点「道の駅しもにた」に隣接地に下仁田町観光協会観光農園造成整備スタート。</p>

<p>○第2ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代～60代のアニメ「頭文字D」のファン ・カーマニア、モータースポーツ愛好家
<p>○選定の理由</p> <p>アニメツーリズム事業として、アニメ「頭文字D」の舞台となった下仁田町・妙義山（中之嶽神社）の観光資源磨き上げ。</p> <p>○取組方針</p> <p>下仁田町商工観光課、企画課、株式会社JTB群馬支店、下仁田出身及び近隣地域出身モータースポーツ有識者で構成する「頭文字Dに係る調査企画会議」を発足。下仁田町及び周辺地域の車文化のアーカイブ調査を進めると共に、モータースポーツを楽しむ観光コンテンツ造成の企画調査を進めている。</p>
<p>○第3ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を利用した広域旅行層の獲得
<p>○選定の理由</p> <p>現在、「道の駅しもにた」は観光交通の軸として、首都圏からの1次交通として新宿・池袋からの高速バス、JR高崎駅～下仁田駅間を運行するローカル鉄道の上信電鉄がある。地域における2次交通として人口減少により衰退が予測される町営バスやタクシーが接続している。</p> <p>高速バス利用者へのヒアリング調査では、首都圏からの乗車賃が安価な高速バスを利用した観光ニーズが確認できた。今後の超高齢化を迎える社会情勢をみると高齢者の免許返納が、更に若者の車離れを考慮すると、公共交通機関を利用した広域旅行者の獲得が戦略的に必要となる。</p> <p>公共交通を存続するために資源として観光に活用することにより、交通を活用した新たな観光の企画と取り組みによる乗車率の向上と、新たな利用方法として地域交通の維持に貢献する仕組みが求められている。</p> <p>○取組方針</p> <p>旅行会社へのプラン提供をはじめ、本町の観光滞留時間を創出し経済効果をあげる仕組みをつくる。関係事業者、近隣市町村と連携し、多彩なルート開拓、持続可能でブランドを高める活動を行う。</p>

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>モジョタウン下仁田</p> <p>「モジョ」とは、「くだけで」物事がうまく行く「特別な力(能力)」「運」「お守り」等幸運や不思議な力を意味するインバウンド旅行者には馴染みのある言葉。他の自治体にはない魅力のある観光資源が眠る下仁田を表すのにピッタリで素敵な言葉である。観光＝「非日常」を更に超える、不思議な「観光魅力資源」が詰まった下仁田の磨き上げを行う。</p>
②コンセプトの考え方	<p>5つの取り組み</p> <p>カテゴリー</p> <p>食：下仁田の特産物とオリジナル企画「究極のSUKIYAKI」を造成、日本一の”下仁田ねぎ”や”蒟蒻”の聖地として認知してもらう。</p> <p>体：こんにやく手作り体験や下仁田ねぎ収穫体験、自然を活用した体験等で日本文化に触れてもらい、下仁田の良さをより深く理解してもらう。</p> <p>歌：下仁田の特色を歌詞に盛り込んだオリジナルソングでイベント等を開催し、下仁田を身近に感じてもらう。</p> <p>催：バラエティーに富んだイベント開催し、下仁田を存分に楽しんでもらう。</p> <p>発：SNSを活用しモジョタウン下仁田の様子をリアルタイムで国内外へ情報発信、訪れてみたい町下仁田への集客に繋げる。</p> <p>8つの観光魅力資源の磨き上げと活用</p> <p>モジョ1「中央構造線」と「関東平野」が会う神秘的な場所</p>

	<p>モジヨ 2 鉱物資源が豊かな大地の恵みジオパーク下仁田 (中小坂鉄山、白石工業白艶華工場)</p> <p>モジヨ 3 世界遺産群のシルク文化の盛り上げ役 (荒船風穴、神津牧場等)</p> <p>モジヨ 4 ブランド食材が堪能できる食の町 (下仁田ねぎ、こんにゃく等)</p> <p>モジヨ 5 スギは下仁田町の町の木 木材資源・文化の町</p> <p>モジヨ 6 歴史ある始発駅「上信電鉄下仁田駅」、 上信越道「下仁田インターチェンジ」、重点「道の駅しもにた」</p> <p>モジヨ 7 群馬の観光名所・「妙義山」と日本一大きな大国様「中之嶽神社」</p> <p>モジヨ 8 アニメ「頭文字D」の舞台となった「妙義山」と 地元の車文化と車愛</p>
--	---

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>下仁田町観光協会 DMO 推進事業検討会議</p> <p>高崎経済大学地域政策学部観光政策学科 准教授 井手拓郎氏を座長に招聘し「DMO 推進事業検討会議」を月1回開催、今年度も継続して行っている。</p> <p>下仁田町役場商工観光課長(担当課)に検討委員として参画していただき、共に DMO 事業について意見交換及び事業検討を行い、共通認識のもと事業を進めている。</p> <p>令和4年度の会議では、KPI 指標調査について企画検討を行なった。令和5年度より、高崎経済大学「観光まちづくり研究室」と連携し、下仁田町来訪者動向アンケート調査を開始。KPI 指標に必要なデータ収集、データ分析を行っている。また、群馬県や連携団体等から提供いただいた調査データを会議にて検討し、当協会のマーケティングに有効活用している。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光関連サービスに対して、旅行会社や利用者などに広くアンケート調査を実施し、客観的データの取得と分析に努める。分析結果等を観光事業者や関係者にフィードバックする。</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>情報のワンストップ窓口としての機能を高め、エージェントをはじめ個人観光客等に対する利便性を高める。</p> <p>また、SNS等を通じて、情報を配信すると共に、多言語化拡散型のプロモーションを推進する。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	260 (-)	267 (-)	267 (-)	280 (130万)	280 (130万)	280 (130万)
	実績	229 (-)	239 (-)	269 (-)			
●延べ宿泊者数 (人)	目標	3,000 (-)	3,860 (-)	3,860 (-)	3,970 (100)	3,970 (200)	3,970 (300)
	実績	2,925 (-)	2,461 (-)	3,433 (-)			
●来訪者満足度 (%)	目標	55 (-)	55 (-)	55 (-)	68 (-)	68 (-)	68 (-)
	実績	未測定 (-)	66.4 (-)	77.1 (-)			
●リピーター率 (%)	目標	30 (-)	30 (-)	50 (-)	75 (-)	75 (-)	75 (-)
	実績	未測定 (-)	73.1 (-)	67.3 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

それぞれの項目の目標値の設定経緯については、これまでのデータに加え観光地域づくり法人としての役割を発揮しての成長率を見込んでいます。DMO事業推進検討会議を発足し、DMOの果たすべき役割、必須KPI指標について協議し、共有しました。設定後の分析や評価の基礎となるデータ収集の方法等も随時改善し進めてまいります。また、令和3年度に見直しを行った組織体制を継続、より効率的で効果的なマネジメントに努めています。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

上信越自動車道、下仁田ICから約5分に位置する「道の駅しもにたは」、平成27年度に重点道の駅(国土交通省)に選定されている。「道の駅しもにた」内にある観光案内所(DMO事務局)を観光の玄関口(軸)として、ここへの来訪者の滞留時間を増やすと共に、周辺観光地へ適切に誘導することで町全体の観光消費額の増加を見込んでいます。そのため、「道の駅しもにた」の売上高を旅行消費額に設定しています。令和4年度はコロナウィルスの影響が緩和されると考えます。

●延べ宿泊者数

町内宿泊施設の宿泊者数(町の実績値)や各宿泊施設の収容人数をベースにしています。

●来訪者満足度とリピーター率

令和5年度より下仁田町来訪者動向調査を開始、その結果に基づいて算出。また、群馬県、連携団体等から提供いただいた調査データを当協会のマーケティングに有効活用している。

合わせて、WEB サイトによる分析、アンケートも考慮し、定期的に把握できる明確な仕組み作りに取り組みます。関係者間での情報共有し、課題抽出と課題解決に取り組みます。

(2) その他の目

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
Web サイト アクセス数 (回)	目標	55,000 (-)	65,000 (-)	193,000 (-)	300,000 (-)	300,000 (-)	300,000 (-)
	実績	71,285 (-)	161,207 (-)	296,610 (-)			
メディアへの 掲載回数 (件)	目標	20 (-)	25 (-)	30 (-)	- (-)	- (-)	- ()
	実績	23 (-)	22 (-)	30 (-)			
Instagram フォロワー数	目標				650 (-)	700 (-)	700 (-)
	実績	- (-)	- (-)	500 (-)			
X フォロワー数	目標	- (-)	- (-)	- (-)	50 (-)	60 (-)	70 (-)
	実績	- (-)	- (-)	13 (-)			
観光案内所 来訪者数	目標	26,500 (-)	27,300 (-)	28,100 (-)	28,000 (50)	28,000 (50)	28,000 (50)
	実績	26,201 (96)	24,036 (-)	20,173 (11)			
移住定住に 関する相談件数	目標	80 (3)	90 (2)	100 (2)	200 (2)	200 (2)	200 (2)
	実績	81 (2)	191 (-)	188 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

本町の観光拠点である、道の駅しもにたを軸として、それぞれの観光スポットへの誘客、今後の商品造成とそのブランド力の向上などを目的として指標の設定を行っている。また、近隣の自治体及び関係団体などとの企画連携及び協働を推進することにより、相互の成長を見込んでいる。

【設定にあたっての考え方】**●WEBサイトアクセス数**

これまでの観光企画のみのサイトから周辺エリアを含む総合的な地域のプロモーションサイトへのシフトを目指すとともに、関連サイトとのリンクを推進しているが、WEBサイトへのアクセス状況の把握は、利用者の属性、ニーズ、動向・志向などの把握とその分析を可能にする。

観光地域づくり法人として、より相応しいマーケティング環境を構築するため、WEBサイトへのアクセス数を指標に設定した。

●メディアへの掲載回数

地域全体で観光振興及び地域ブランド力の向上を図ることを目的にするとともに、地域の方々に観光振興や地域づくりの活動に対する理解を深めてもらうための域内プロモーションに位置づけてメディア掲載回数を指標に設定しており、想定以上に伸びているが、令和4年度で計測終了とする

●令和5年度よりInstagram、Xのフォロワー数の計測をスタート。**●観光案内所への来訪者数**

下仁田町の玄関口である観光案内所の来訪者数は、主要拠点で町全体の観光入込客数の約7割を占める「重点・道の駅しもにた」の来場者数と密接に関連している。来訪者数を把握することで、観光客の動向や要望なども得ることが可能であり、観光戦略立案の基礎資料にするために来訪者数を指標に設定している。

●移住定住に関する相談件数

観光案内所は、移住定住くらしの相談窓口が設置されており、移住定住コーディネーターが常駐し町外からの移住定住を望む人たちへの様々な相談を行っている。現状や課題の把握、定量的評価を可能にし、より効率的で効果的な施策を展開するため、新たに相談件数を指標に設定した。目標値については前年度までの実績、今後益々増えると思われる自然が豊かな地方への志向の高まり、空き家の供給状況などを勘案し、伸び率を約1割に設定した。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（1）収入

年（年度）	総収入	内訳（具体的に記入すること）	
2020（R2）年度	19,414,300円	下仁田町 補助金	9,000,000円
		群馬県立妙義公園管理受託	819,000円
		千客万来事業受託】	682,000円
		下仁田町「荒船の湯」管理運営受託	6,500,000円
		下仁田町移住定住コーディネータ受託	2,900,000円
		下仁田町こんにやく手作り体験道場・外トイレ清掃受託	108,000円
		下仁田町観光協会 年会費	598,000円
		こんにやく手作り体験事業	2,042,718円

		高速バスチケット発券事業 2,233,520 円 荒船の湯事業収入・雑収入 15,897,222 円 物販事業 87,070 円 観光 PR 事業・その他雑収入 234,191 円
2021(R3)年度	17,601,530 円	下仁田町補助金 10,000,000 円 群馬県立妙義公園管理受託 819,000 円 下仁田町移住定住コーディネーター受託 2,900,000 円 下仁田町フォトコンテスト事業受託 154,000 円 こんにやく手作り体験事業 73,040 円 ねぎ収穫体験事業 358,540 円 下仁田町観光協会 年会費 582,000 円 こんにやく手作りキット物販事業 84,150 円 下仁田町防災交流センター貸館及び清掃業務託 304,500 円 観光 PR 事業・その他雑収入 312,300 円
2022(R4)年度	17,831,646 円	下仁田町補助金 8,500,000 円 下仁田町移住定住コーディネーター受託 2,900,000 円 群馬県立妙義公園施設管理受託 2,887,000 円 下仁田町観光協会会費収入 624,000 円 防災交流ステーション貸館及び清掃業務委託 313,563 円 事業収入観光収益 743,298 円 事業収入蒟蒻手作り体験 380,800 円 事業収入移住定住 7,150 円 事業収入ネギ収穫体験 382,260 円 事業復活支援金 1,000,000 円 その他雑収入 93,575 円
2023(R5)年度	25,065,000 円	繰越金 5,100,000 円 下仁田町補助金 10,000,000 円 下仁田町移住定住コーディネーター受託 3,132,000 円 群馬県立妙義公園施設管理受託 3,000,000 円 下仁田町観光協会会費収入 700,000 円 防災交流ステーション貸館及び清掃業務受託 400,000 円 フォトコンテスト受託 150,000 円 事業収入観光収益 1,033,000 円 事業収入蒟蒻手作り体験 1,000,000 円 事業収入ネギ収穫体験 500,000 円 その他雑収入 50,000 円

2024(R6)年度	26,315,000円	繰越金	5,000,000円
		下仁田町補助金	11,000,000円
		下仁田町移住定住コーディネーター受託	3,232,000円
		群馬県立妙義公園施設管理受託	3,200,000円
		下仁田町観光協会会費収入	750,000円
		防災交流ステーション貸館及び清掃業務受託	400,000円
		事業収入観光収益	1,133,000円
		事業収入蒟蒻手作り体験	1,000,000円
		事業収入ネギ収穫体験	500,000円
		その他雑収入	100,000円
2025(R7)年度	26,965,000円	繰越金	5,000,000円
		下仁田町補助金	11,500,000円
		下仁田町移住定住コーディネーター受託	3,332,000円
		群馬県立妙義公園施設管理受託	3,200,000円
		下仁田町観光協会会費収入	800,000円
		防災交流ステーション貸館及び清掃業務受託	400,000円
		事業収入観光収益	1,133,000円
		事業収入蒟蒻手作り体験	1,000,000円
		事業収入ネギ収穫体験	500,000円
		その他雑収入	100,000円

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)	
2020(R2)年度	22,834,117円	群馬県立妙義公園管理受託	2,688,940円
		下仁田町移住定住コーディネーター受託事業	3,483,907円
		町なか賑わい創出支援事業	551,650円
		こんにゃく手作り体験事業	770,720円
		多言語解説整備支援事業	1,423,589円
		DMO関連事業	3,677,521円
		荒船の湯管理事業	2,941,340円
		観光案内所管理事業	6,024,029円
		観光PR事業	1,272,421円
		2021(R3)年度	16,468,784円
下仁田町移住定住コーディネーター受託事業	3,042,851円		
フォトコンテスト事業	146,324円		
こんにゃく手作り体験事業	691,062円		
ねぎ収穫体験事業	292,606円		
DMO関連事業	2,914,612円		
観光案内所管理事業	5,064,321円		
観光PR事業	787,029円		
2022(R4)年度	15,193,965円	PR 公益事業	4,150,784円

		観光収益事業	817,864 円
		こんにゃく手作り体験事業	995,591 円
		妙義施設管理事業	2,918,595 円
		移住定住事業	2,966,446 円
		ねぎ収穫体験事業	898,112 円
		DMO 関連事業	1,660,904 円
		防災交流受託事業	785,669 円
2023(R5)年度	21,558,888 円	一般管理費	11,835,000 円
		事業費	6,492,000 円
		委託費	2,542,000 円
		負担金	396,000 円
		予備費	293,888 円
2024(R6)年度	23,200,000 円	一般管理費	12,500,000 円
		事業費	7,000,000 円
		委託費	3,000,000 円
		負担金	400,000 円
		予備費	300,000 円
2025(R7)年度	24,600,000 円	一般管理費	13,000,000 円
		事業費	7,500,000 円
		委託費	3,300,000 円
		負担金	450,000 円
		予備費	350,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

人口減少にともない地域の産業が下降する中で、会員収入を増やすことには限界がある。その様な中、今後の運営資金を確保する手段として、関係事業者と収益から新たな資金スキームを確保する仕組みを検討している。着地型旅行商品の造成についてはテーマ性のあるイベントを複数開催し将来的には定番企画となるように収益の安定性を図る工夫をする

また、運営資金確保のための具体的な取り組みは、以下のとおりである。

- ・ 効率的かつ効果な運営に努め、町の補助金に頼る体質からの脱却と自立を目指す
- ・ 移住定住に係る業務の更なる拡充を図るとともに、必要となる運営資金の安定的な確保に努める
- ・ 指定管理業務の受託件数を増やすなど、運営資金の安定的な確保に努める

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

【下仁田町商工観光課】

下仁田町は、当町における地域DMOである一般社団法人下仁田町観光協会と、より一層の連携体制を構築し、引き続き観光地域づくりに取り組んでまいりたい。

【群馬県 甘楽富岡振興局 富岡行政県税事務所】

関係者との連携を密にし、効率的かつ効果的な取組に期待します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

（例）エリアが重複する●●DMOとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	津金澤 英美
担当部署名（役職）	CMO
郵便番号	370-2603
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町大字馬山 3766-11
電話番号（直通）	0274-67-7500
F A X 番号	0274-67-7501
E - m a i l	dmoshimonita@icloud.com

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	群馬県下仁田町
担当者氏名	林 光一
担当部署名（役職）	商工観光課 課長
郵便番号	370-2601
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田 682
電話番号（直通）	0274-64-8805
F A X 番号	0274-82-5766

E-mail	kankou@town.shimonita.lg.jp
--------	-----------------------------

都道府県・市町村名	群馬県 甘楽富岡振興局 富岡行政県税事務所
担当者氏名	佐俣 潤
担当部署名（役職）	補佐、総務振興係 係長
郵便番号	370-2454
所在地	群馬県富岡市田島 343-1
電話番号（直通）	0274-62-9525
FAX番号	0274-63-5141
E-mail	samata-j@pref.gunma.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

群馬県甘楽郡下仁田町

【設立時期】平成26年8月12日

【設立経緯】

(例)①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】代表理事 神戸 康宏

【マーケティング責任者(CMO)】津金澤 英美

【財務責任者(CFO)】野口 幸子

【職員数】7人(常勤0人(正職員0人・出向等1人)、非常勤7人)

【主な収入】補助金 950万円、受託事業 610万円、
収益事業 223万円 (令和4年度決算)

【総支出】

事業費 642万円、一般管理費 877万円(令和4年度決算)

【連携する主な事業者】下仁田町商工会、下仁田町森林組合、道の駅しもにた(産業開発しもにた)、ジオパーク下仁田協議会、上信電鉄(株)、(公財)神津牧場、下仁田町旅館組合、下仁田町飲食店組合、下仁田町蒟蒻消費拡大推進協議会、高崎経済大学観光まちづくり研究室

KPI(実績・目標)

記入日: 令和5年 10月 31日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	267 (-)	267 (-)	270 (-)	280 (130万)	280 (130万)	280 (130万)
	実績	239 (-)	269 (-)	269 (-)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (人)	目標	3,750 (-)	3,860 (-)	3,860 (-)	3,970 (100)	3,970 (100)	3,970 (100)
	実績	2,925 (-)	2,461 (-)	3,433 (-)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	55 (-)	55 (-)	55 (-)	68 (-)	68 (-)	68 (-)
	実績	未測定 (-)	66.4 (-)	77.1 (-)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	30 (-)	30 (-)	50 (-)	75 (-)	75 (-)	75 (-)
	実績	未測定 ()	73.1 ()	67.3 ()	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ①首都圏の小中高等学校及び教育団体
- ②20代～60代のアニメ頭文字Dのファン及びカーマニア、モータースポーツ愛好家

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ①こんにゃく手作り体験、下仁田ねぎをはじめとする地場産野菜収穫体験、観光農園造成整備。
- ②アニメツーリズム企画調査、コンテンツ造成。

【観光地域づくりのコンセプト】

モジョタウン下仁田

5つの取り組み(食、体、歌、催、発信)を連携
8つの観光魅力資源の磨き上げ

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・地元特産品「こんにゃく手作り体験」
- ・地元特産品「下仁田ねぎ収穫体験」
- ・地域資源利用「下仁田焼き陶芸体験」

【情報発信・プロモーション】

- ・観光協会WEBサイト更新業務
- 観光案内所デジタルサイネージ多言語案内
- JNTO認定案内所(カテゴリー2)
- ・3大名所開園情報及び開花状況
- 開園期間中随時、HP及びSNSにて随時情報更新
- ・地元特産品「こんにゃく」「下仁田ねぎ」のテーマソング制作

【連携事業】

- ・ジオパーク下仁田の可視化(観光協会WEBサイト再構築)
- ・町内伝統文化
- 山際神社例大祭、
- 諏訪神社例大祭の可視化(観光協会WEBサイト再構築)

